

NEWS RELEASE

自動車機器事業拡大に向けた開発・評価体制を整備
姫路製作所「新実験棟」竣工のお知らせ

三菱電機株式会社は、自動車機器事業の主要生産拠点である姫路製作所（兵庫県姫路市）に建設していた新実験棟（土山第15実験棟）が8月5日に竣工しましたのでお知らせします。順次稼働を開始し、今後需要増加が見込まれる電動車両用モーターおよびインバーターの開発・評価体制を強化することで、自動車機器事業のさらなる拡大を目指します。



姫路製作所 新実験棟（土山第15実験棟）

新実験棟の概要

名称	土山第15実験棟
所在地	兵庫県姫路市千代田町840番地(姫路製作所内)
面積・構造	延べ床面積約8,200m ² 、鉄骨造7階建
主な建物用途	電動車両用モーターおよびインバーターの開発・評価
竣工時期	2019年8月5日
投資金額	約22億円
環境・省エネ対策	空冷ヒートポンプチラー、LED照明(天井直付型43W×約1,300台)、電力設備監視システム、空調冷熱総合管理システム、スーパー高効率トランス(6.6kV/200V/100V)、全熱交換器(換気システム)など

新実験棟建設の背景と狙い

近年、地球環境保護の観点から、世界の自動車市場ではCO₂の排出量削減に大きく貢献するHEV*やEVなどの電動車両の普及が急加速しています。

当社は今回、姫路製作所内に新実験棟を建設し、需要拡大が見込まれる電動車両用モーターおよびインバーターの開発・評価体制を強化します。今後も当社が保有するパワーエレクトロニクスや車載制御、モーター巻線などの独自技術を強みとする製品を開発・生産し、自動車機器事業のさらなる拡大を目指します。

* Hybrid Electric Vehicle : ハイブリッド車